



安全な農産物を消費者へ

—鹿沼南高等学校「とちぎGAP」取得—

ブルーベリーの栽培・販売を行う鹿沼南高等学校が農産物の安全性などを認証するとちぎGAP(農業生産工程管理)を取得し、10月4日、県上都賀庁舎で交付式が行われました。GAP取得の推進によって、安全かつ高品質な農産物をもたらすとともに、持続可能な農産物の供給が期待されます。

かわいらしいイチゴのお菓子完成!

—いちごまんじゅう完成報告—

10月14日、鹿沼商工高等学校の生徒たちが、市役所を訪れ「青春(あまずっぱい)いちごまんじゅう」の完成を報告しました。

とちおとめを使用したあんをいちご形の生地に包んだ仕上がりは、三宝製菓(株)(村井町)協力のもと、同校商業部の生徒たちが試行錯誤の末にたどりついたもの。

いちごまんじゅうは、国体卓球競技リハーサル大会(10ページ)で来場者に配布されたほか、15日からTKCいちごアリーナの鹿沼PRコーナー等で販売を開始しました。



犯罪ゼロのまちを目指して

—菊沢防犯協会

「功労ボランティア団体」受賞報告—

菊沢防犯協会が「功労ボランティア団体」として、全国防犯協会連合会から表彰されたことを受け、10月25日に市長への受賞報告を行いました。同協会は、長年にわたっての青色回転灯パトロール等の地域に根差した防犯活動が評価され、今回の受賞に至りました。菊沢地区での犯罪撲滅に向け、同協会の活動は続きます。



プロレスで地方を元気に!

—「栃木プロレス」市長表敬訪問—

今年の6月に設立したプロレス団体「栃木プロレス」が、10月28日に、市長を表敬訪問しました。

同団体は、プロレスを通じた地方創生に加え、子どものいじめをなくしたいと、県内の小中学校訪問や駅前・商業施設で試合を行うなど、精力的に活動しています。県内8番目のプロスポーツ団体として、県民に愛される団体を目指す「栃木プロレス」に今後も目が離せません。

